

家畜衛生だより

夏季休暇期間中における防疫対策の徹底を！

新型コロナウイルスの人への感染が世界的に継続しており、日本を含む各国において渡航の自粛等の対策が講じられていますが、東京オリンピックも開催され、多くの関係者が来日しています。国内においても、豚熱が発生しており、夏季休暇期間においても、アフリカ豚熱、口蹄疫等の伝染病が日本に侵入するリスクや豚熱が飼養豚に発生するリスクがあります。

家畜飼養者の皆様におかれましては、従業員の方も含めて、以下の項目について、再度確認・徹底をお願いします。

海外渡航の自粛

FMD、ASF等の家畜伝染病発生地域への渡航は自粛しましょう。

【近隣国の家畜伝染病発生状況】

- ・令和3年3月 中国で豚の口蹄疫(FMD)発生。
- ・令和3年5月 モンゴルで牛のFMD発生。
- ・令和3年5月 韓国で豚のアフリカ豚熱(ASF)発生。
- ・令和3年7月 中国で豚のASF発生。

消毒と衛生管理区域への病原体の持ち込み防止

- ・関係者以外が衛生管理区域や畜舎に立ち入ったり、不要な物を持ち込まないように看板設置等で周知しましょう。
- ・衛生管理区域や畜舎に入る場合は、専用の手袋や靴を着用し、手指の消毒、持ち込む物品の消毒を実施しましょう。
- ・野生動物が侵入しないよう防護柵・防鳥ネットを設置し、定期的に点検・修繕を実施しましょう。

毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・毎日の健康観察をしっかり行い、異常を呈する家畜を発見した際は、速やかに家畜保健衛生所へ連絡してください。

【口蹄疫】

牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)ができるのが特徴です。



(写真出典:宮崎県)

(写真出典:動物衛生研究部門)

【アフリカ豚熱】



(写真出典:動物衛生研究部門)

甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈します。

【豚熱】

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等



(写真出典:岐阜県)